

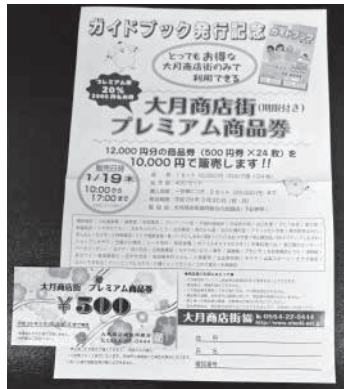
プレミアム商品券の販売・ガイドブックを発行

地域密着の商店街を目指す新たな一手

● 大月商店街協同組合

TOPICS

大月商店街協同組合(天野太文理事長)は組合員の店舗の買物に利用できる「プレミアム商品券」の販売を1月19日から開始し、3日間で完売し大好評となった。



プレミアム商品券

この商品券は、平成8年から組合が実施してきたポイントカード事業に続く、商店街活性化に向けた新たな販促事業として販売されたもので、1セットが500

円券24枚つづりで価格は1万円、2千円のプレミアムがつく。1世帯につき2セット限定で、19日の午前10時から組合事務所で販売したところ、販売後3日間で400セットが全て完売となった。この商品券は組合に加入している57店舗で3月20日まで利用できる。

また組合では、昨年12月に各店舗の送迎・宅配サービスを紹介したガイドブックを発行した。このガイドブックは、公共交通機関や自家用車などの利用が難しい高齢者の買物サービスとして、山梨県と大月市からの「買援隊活動促進事業」の助成を受け作成した。

ガイドブックには、購入された商品をお客様の自宅まで届ける宅配・出前サービス、長距離の移動が困難なお客様に店舗で実物を実際に見て買物をしてもらうお車で送迎サービス、店舗スタッフ

がお客様宅まで商品を持って訪問するご説明販売サービスなどが受けられる店舗が紹介されている。組合では、今後もこうした新サービスを行う店舗を随時拡大していく予定。

天野太文理事長は、「組合は地域に寄り添った商店街であること目指して活動してきたが、これからは様々な事業を実施し、地域住民に長く商店街を利用してもらえるように努力していきたい」と話す。



大月商店街ガイドブック